

### 生産緑地法改正に伴う本市の動向

島田 和泉議員

**問** 法改正に伴う面積要件の引き下げや地区内の建築規制の緩和、そして特定生産緑地制度の創設による影響などに対して、市はどのような対応を考えているのか。

**答** 市としては生産緑地の指定面積の要件を緩和する条例の検討、特定生産緑地の指定等について農業関係者と協議し、生産緑地の保全に努める。

### 新たなスポーツ活動への支援

**問** 新たなスポーツ競技への支援策は。

**答** 主に学校体育施設開放事業における活動場所の提供を行っている。

**問** 新たなスポーツへの支援にクラウドファンディングなどの活用は。

**答** 具体的な支援はスポーツ選手派遣費補助以外にどのような支援が求められているか、話し合い



スポーツ鬼ごっこ

の場を設け検討を行う。

### 国が実施する風疹予防の本市の対応

**問** 市民への周知をどのようにしていくのか。

**答** 平成31年度は風疹抗体検査と予防接種の無料クーポンを対象者へ送付する。市報やホームページにて周知・啓発を図る。

### 保育園、幼稚園など給食費の無償化

新井 光男議員

**問** 給食は教育、保育の一環である。今年10月から幼児教育が無償化されるが、給食費の保護者負担も軽減すべきでは。

**答** 食育は重要と認識している。10月から副食費の免除月額は4500円を上限とし、これまで減免されていた方に加え年収360万円未満の世帯児童と第3子以降の児童を免除して負担軽減を予定している。

### 段差解消などバリアフリーのまちづくり

**問** 高齢者や障がい者が安心して生活できるようにバリアフリーのまちづくりの基本方針策定を。

**答** 引き続き誰もが気軽に利用できる施設として学習や交流の場、団体や個人をつなぐ場としての役割を果たしたい。



### 子どもがのびのび遊べるまちへ

川畑 京子議員

**問** 近年、公園ではさまざまな禁止の看板が設置されている。昔のように空き地も無く、子どもたちが外で元気に遊ぶのに必要な時間、空間、仲間が減少している。子どもの遊び場として、ボール使用や、走り回れる公園を整備できないか。

**答** 現在市内にある公園は、利用者に対する安全・安心を考え、公園でのボール遊びは原則禁止している。利用者からも要望がある。現在運動公園と第2運動公園へバスケットゴールを設置し、キャッチボールやサッカーができる多目的広場の整備を進めている。

### 防犯カメラの設置

**問** ドライブレコーダーに対し、購入費用を助成し、防犯に活用がで



きる。近年、公園ではさまざまな禁止の看板が設置されている。昔のように空き地も無く、子どもたちが外で元気に遊ぶのに必要な時間、空間、仲間が減少している。子どもの遊び場として、ボール使用や、走り回れる公園を整備できないか。

### 樹木の適正な管理を

**問** 落ち葉など近隣住宅への対策は。

**答** 樹木の剪定を落葉する前に行い、落ち葉を減らすよう努めていく。

### 耕作放棄地への対策

有山 茂議員

**問** 耕作放棄地は今後増えると思われるが、現在の対応状況は。

**答** 全国的な課題となっている。本市でも毎年農業委員、農地利用最適化推進委員などで情報収集と現地確認をして状況を把握しており、重要な課題と認識している。市の対策は、農業委員会やいるま野農協等と連携し、農地の借主のあつせんなどの対策を図っている。

### 三芳スマートICのフル化

**問** 供用開始はいつか。

**答** 当初は平成31年3月末の予定であったが、平成33年度以降に変更された。

**問** 大井中学校前道路の安全対策は。

**答** 中学校からふじみ野高校入口までの区間を三芳町と連携し、狭あい対



### 元気・健康マイレージ事業の継続

伊藤 美枝子議員

**問** 初年度からの参加者は3月末で終了となる。ポイントの付与は無くても、体組成計の測定や健康セミナーへの参加など、継続を求める声があるか。

**答** 健康づくりには継続性が重要。継続参加の方に体組成計での測定や健康セミナーの実施、タニタ健康管理サイトの利用等も可能とする。

### お出かけサポートタクシーの拡充

**問** 利便性向上を求める声に対してどう取り組むのか。

**答** 今後は現行の共通乗降場を用いる方式が良いのか、運行方式についても他市の動向を確認し研究する。

### 江川緑道の総点検・再整備

**問** 経年劣化によりいた



江川緑道

る所でタイルがはがれるなど危険が増している。総点検と再整備を。

**答** 点検結果に基づき補修方法や規模の検討を行い、また財源確保のため交付金を受けることが可能か検討する。

**問** 将来的に自身の体を知ることが大切との視点で周知・啓発手法を検討する。

### 建て替え改修後の公民館運営

伊藤 初美議員

**問** 3つの公民館の今後の運営は直営か民営か。

**答** 文化施設整備事業アドバイザー業務等で検討する中で、より良質なサービスの提供が可能であるか、効果が得られるかなどの基準を設定するための協議をしていく。

**問** 使用料の減免制度継続の検討方法とその判断基準は。

**答** 使用料・手数料等適正化検討委員会を中心にサービスを受ける人の応分の負担で公平性を確保することを原則としている。教育委員会も受益者負担のあり方と使用料の減免制度のあり方などについて、検討していく。

**問** 教育機関である公民館に受益者の考え方はないのでは。



大井中央公民館

**答** 安定的に事業実施していくために、今のままで良いのか検討が必要だ。

### 三ヶ島街道の歩道整備

**問** 歩道が狭く、大型車両の通行量も多い。できるところから整備すべきでは。

**答** 全ての歩道用地を取得し整備してから県に管理移管することになっていく。引き続き相続や売買等が生じた際に、用地取得を行っていく。